C—86 ルネッサンス期イタリアの絹織物（第1報）
——服飾に及ぼした初期的影響について——

山脇学園短大　渋谷 裕子

1. 仮りに服装形態の変遷を考察するにあたっても，材料や織物の変化がその根源的な要素の一つであることは疑えない。材料史的側面から，画期的な人為的服装形態の出現によって近代服装の発端ともなった。イタリア初期ルネッサンスの絹織物に関して，その発達経過をたどり，それが服飾に及ぼした影響について考究することを，当研究は目的とした。

2. Santangelo, A. の著作を始め，絹織物業の交流・発達に関する経済史，更には服装史等に関する諸文献的資料によって，イタリア絹織物の比較検討を行なった。

3. 十四世紀中頃から十五世紀における，イタリア絹織物業の繁栄及び織物の交流を把握しながら，イタリア絹織物及び柄の種類，西ヨーロッパへの普及状態，とりわけ服飾史上画期的現象である柄布地の使用から，イタリアの絹織物が当期の西ヨーロッパでの主導的位置を占めたこと，服装形態史上，イタリアン・ルネッサンスの影響は材料に関して顕著であったことなどが明らかになった。